

「名古屋ものづくりワールド」出展で 当社の技術・新製品を 自動車業界にアピールしました！

4月9日から11日までポートメッセなごやで

「ものづくりワールド 名古屋『第6回 計測・検査・センサ展』」が開催され、当社も出展いたしました。

「ものづくりワールド『名古屋』」はIT、DX製品、部品、設備、装置、計測製品などの見本市（展示会）。600社が出展する中部地方最大規模のもので、開発・製造期間の短縮、DX・IT化の推進、コストダウン、工場の省エネ・自動化に貢献する最新技術が揃うものです。

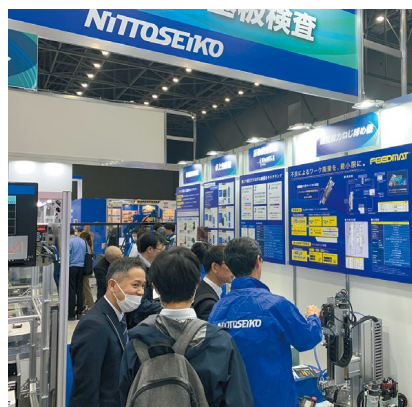
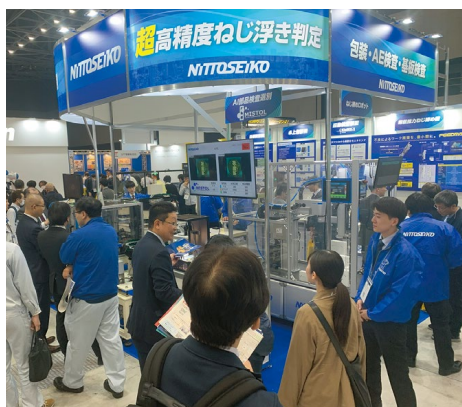
当社のブースでは、超低推力でのねじ締めを可能とする「新製品・単軸自動ねじ締め機FEEDMAT® FM513VZR」をはじめ、超高精度なねじ浮き検出とねじ締め直前にねじに付着したコンタミを除去するコンタミ対策ユニット搭載の「自動ねじ締めロボット」、ゲージに加わるトルクを計測してタップ成形の異常を検知する「めねじ検査装置」、小物部品を人工知能（AI）で画像解析し、寸法・キズの有無などを検査する「部品検査選別

装置」、部品をカウントして袋詰めする「計数包装機」などを出展。各種デモンストレーションを通して、生産現場のあらゆる課題解決をご提案する当社およびグループの技術力を来場者の方にアピールしました。

右下の写真は単軸ねじ締め機「FEEDMAT® FM513」シリーズの「超推進

力モデル」の展示の様態です。近年、自動車分野などでは電装化、EV化、軽量化などが進み、デリケートなねじ締めにおける不良の低減をより求められるようになっていきます。この新製品は推力を制御することで、ワークへの負荷軽減と焼き付きなどのねじ締め不良の低減に貢献。また推力制御を高度化し、サイクルタイム短縮（約40%向上）も実現するものです。シンプルに言えば〈丁寧〉かつ〈迅速〉という、一見矛盾するふたつのことを高度な次元で実現した「自動ねじ締め機」で、自動車関係者に強い関心をもっていただくことができました。

日東精工グループではこういった国内外の展示会を今後も積極的に活用し、既存のお客様の深耕と新しい顧客獲得を図ってまいります。



全体で33,000人以上が来場。日東精工グループのブースにも自動車業界をはじめさまざまな分野の方が多数訪問されました。またリアル会場だけでなくオンラインでも同時展開され、当社も各種製品のほか、会社案内などもダウンロードできるようにいたしました

日東精工グループの「健康経営」は 国からも京都府からも高く評価されています

信条1 | 我らはよい自己をつくる 健康を増進し 品性を養い知識を求め 技術をみがいて 健全な人格をつくる

上記は日東精工の企業理念を表す「我らの信条」のひとつで、いのいちばんに健康の大切さを謳っています。当社では、心身ともに健全であることが良い仕事につながると考え、創業時から（まだ「健康経営」という言葉がなかった時代から）、健康の大切さを謳い、そして健康への取り組みが硬直した古いものにならないように、常に時代の変化に合わせてブラッシュアップしています。

こういった当社の健康への取り組みが昨今、公的機関などから高く評価されています。たとえば、経済産業省と東京証券取引所が共同実施する「健康経営銘柄」があり、これは健康経営に積極的に取り組む企業を原則1業種1社のみ選定するものです。数千ある上場企業のなかでも53社しか選定されない銘柄ですが、当社は

本年度、3回目の「健康経営銘柄」の選定を受けることができました。

また今般、当社連結子会社の日東公進(株)が「きょうと健康づくり実践企業認証」で「最優秀賞」を受賞しています。従業員の健康づくりの取り組みについて京都府がさまざまな基準から総合的に判断する認証制度ですが、じつは当社、日東精工も昨年「最優秀賞」に輝いています。京都に企業が数多あるなかで、日東精工グループが「最優秀賞」のバトンをつなげていくことになりました。こういった外部からの評価を喜びと励みにしながら、より精進してまいります。



「人」を「学び」を大切にする会社です！

当社では従業員が日々の業務だけに追われて視野狭窄にならないように「教育単位制度」を設けています。たとえば資格を取得するとか、CSR（地域貢献）活動に参加するといったことを教育単位として、必要な単位を獲得していないければ昇格・昇級試験を受けられないようになっています。努力すればそれが報われる制度です。そしてそのためにさまざまな「学び」の場も設けています。たとえば昨年度は当社各役員が講師となり次世代経営者を育成する「日東精工経営塾」、福知山公立大学の先生を招いた「日東精工ビジネススクール」などを開催。中堅・ベテラン向けだけでなく、本年4月7日にはInstagram元日本代表の長瀬次英さんを講師に若手向け勉強会なども開催しました。

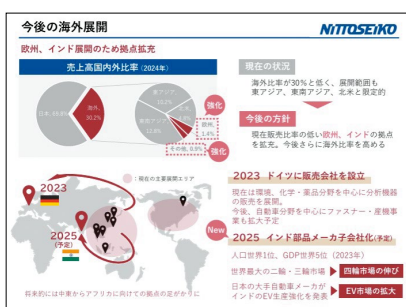
当社の人財教育はメディアでも注目されることも多く、書籍『人生の「ねじ」を巻く77の教え』（ポプラ社）があるほか、最近では4月7日に「KBS京都」のラジオ取材を受けています。



上／長瀬次英さんを講師に若手勉強会
下／KBS京都の取材を受ける人事担当

インドの冷間圧造部品メカ「Vulcan グループ」を子会社化

昨年から進めておりましたインドの「Vulcan Forge Private Limited」の株式取得と子会社化に関して、本年、3月13日に株式譲渡手続きを完了させました。当社はこれまでM&Aなどを通して、ファスナー（工業用ねじ）のラインナップを拡充してきましたが、ユーザ仕様に特化した特殊形状品の拡充を模索しているなかで、当社グループの領域とは異なる冷間圧造部品を手がけるVulcanグループを子会社化するものです。経済成長が著しいインド市場での自動車・二輪車業界に幅広く市場参入し、当社グループの更なる販売力と製品力の強化につなげ、成長を加速させてまいります。



「あやべ水源の里トレイルラン」に特別協賛をしました

4月6日に「第3回あやべ水源の里トレイルラン」が開催され、全国から700名以上が参加しました。当社はこの大会に第1回から特別協賛をしており、従業員が運営スタッフとして多数ボランティア参加するほか、実際にレースに選手として参加し完走するものもいて、大会全体の盛り上げ、綾部のまちにぎわいづくりに貢献しています。この「あやべ水源の里トレイルラン」は全国さまざまなところで開催されるトレイルラン大会のなかでも高い評価を得ており（去年はアンケート全国1位の評価）、綾部のまち・人のホスピタリティの高さを表すものです。この大会をスポンサードしていることに喜びと誇りを感じます。

参加者全員に当社オリジナルミネラルウォーターをプレゼント。またスタート＆ゴール地点の「あやべ温泉特設会場」には当社ブースも設け参加者や応援者に向けて日東精工の事業や技術の高さなどをアピール



新入社員がアイデアを持ち寄り「由良川花壇展」に出展

当社が本社をおく綾部市ではまちの中心を流れる由良川の河川敷を利用して、毎年4月27日から29日まで「由良川花壇展」を開催しています。幼稚園や小学校をはじめ綾部にあ

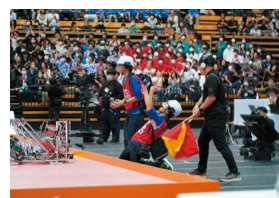


今年の新入社員がつくる花壇のテーマは「幸せを運ぶねじとくん」。花壇展（コンクール）は4月29日までですが、作品は6月15日まで展示される予定です。

る企業や任意団体が、自分たちでテーマを決めて造園しそれぞれの趣向を競うもの。当社では毎年この「花壇展」を新人研修の一環としています。どんなテーマにするか、そのためにどんな花（苗）を植えていくか、今の姿だけでなく、未来図をイメージしながらチームワークで進めていく大切さを、まちのイベントを通して学んでいくわけです。そして同時にまちの方々となつがり地域貢献を体験します。

豊橋技術科学大学 ロボコン同好会とゴールドスポンサー契約

当社は今般、ご縁あつて豊橋技術科学大学 ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」とスポンサー契約を締結しました。同会は「ABUロボコン2023（カンボジア）」世界大会で優勝しているほか、昨年6月の「NHK学生ロボコン2024」でも優勝し史上初の3連覇を達成した強豪同好会です。優秀な学生に日東精工の技術や事業のことを深く理解してもらうことになります。そして当社でもねじ締めロボットなどを展開しておりますので、学生たちが日本一、世界一を目指すことをサポートしながら、同会が企画・運営するロボットや技術に興味のある子どもに向けた体験会なども支援。次代の夢や目標を支える一助となり、社会の発展に寄与してまいります。



NHK学生ロボコン優勝時の画像

下学して上達す

代表取締役社長

荒賀 誠

「センスいい」「その服、よく似合ってる」などと言われると

悪い気はしませんね。けれど、それが衣料品売り場での販売員さんからであれば、買わせたいがための常套句ではと少し身構えたりもします。

アパレル関係のコンサルタントの方によると、この「似合う」にどれだけ説得力をもたせられるかが大事ということでした。布地やデザインの特長、その年の流行など商品知識が豊富なのは必要最低限。それだけでなくお客さまのことをわかろうとすることが大切で、いまは骨格診断やパーソナルカラー診断などの資格取得を販売員に推奨しているそう。リスクリングやリカレントという

言葉で「学び直し」の大切さが説かれるようになりました。ベテラン、シニア世代へ向けて発せられることが多いのですが、「学び」に年齢や性別は関係ありません。学ぶことは大事なことでとわかつているけれど、結局そのままにして自分の才能や可能性を生かしきれていないとしたら、それは残念です。

一見、自分の専門とは違うものでも「学び」から得られるものは多いはず。アパレルでの「似合う」は「安全」や「高性能」「環境にやさしい」などに応用できるでしょう。それぞれの言葉でどれだけ共感を呼び起こせるか、日々「学び」を忘れないようにしましょう。

下学上達（かがくじょうたつ） 容易なことから学び、だんだんに高度で深い道理に通じること。次第に進歩向上していくこと

「幸せ」を見つけるヒント 5月

細やかに目くばり、心くばり

右の画像は綾部市図書館の階段です。お気づきになりましたか？ 手すりが両サイドに二つ付いています。こんな手すりを他所で見かけることはなかなかありませんが、司書の方に話をうかがうと大人用と子ども用だそうです。考えて見れば背の高さ、手の長さが成人と子どもではまったく違うわけですから、ほどよい手すりの高さ、安全に持てる高さは違ってくる、それに合わせて二つあってもおかしくないわけです。むしろ、あって然るべきですね。

新しい図書館をつくるにあたり、利用者目線でな

にが必要か、どうすればより使いやすいかなどをすべての分野で徹底的に見直し、検討した成果のひとつがこの階段手すりだそう。じつは綾部が初ではなく既に取り入れているところを真似たもののようですが、見直しを〈徹底的に〉したから、気づきが生まれたわけで、また良いと思うものは迷わず取り入れる、これが素晴らしい！

我々もお客様満足度120%を目指し、徹底的に目配りをしていきたいと思います。

日東精工代表取締役会長
綾部商工会議所会頭

材木正己

